

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年8月22日(2019.8.22)

【公開番号】特開2018-175828(P2018-175828A)

【公開日】平成30年11月15日(2018.11.15)

【年通号数】公開・登録公報2018-044

【出願番号】特願2017-134110(P2017-134110)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/56 (2006.01)

A 6 1 B 17/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/56

A 6 1 B 17/14

【手続補正書】

【提出日】令和1年7月3日(2019.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

先端部同士が回動可能に連結された一対の第1の長尺体と、前記第1の長尺体同士の回動角度を調整する角度調整部材とを有する第1のブレードと、

前記第1のブレードに並設され、先端部同士が回動可能に連結された一対の第2の長尺体を有する第2のブレードと、

前記一対の第1の長尺体のうちの一方の第1の長尺体と、前記一対の第2の長尺体のうちの一方の第2の長尺体とに着脱自在に装着され、その装着状態で前記一方の第1の長尺体と前記一方の第2の長尺体とを連結するとともに、互いの位置関係を規制する第1の連結部材と、

前記一対の第1の長尺体のうちの他方の第1の長尺体と、前記一対の第2の長尺体のうちの他方の第2の長尺体とに着脱自在に装着され、その装着状態で前記他方の第1の長尺体と前記他方の第2の長尺体とを連結するとともに、互いの位置関係を規制する第2の連結部材とを備え、

前記第1の連結部材が装着された第1の装着状態とするとともに、前記第2の連結部材が装着された第2の装着状態として、前記角度調整部材を操作した際、前記第1の長尺体同士の回動角度が調整されるのに連動して、該回動角度と同角度に前記第2の長尺体同士の回動角度が調整される開骨器具であって、

前記第2のブレードは、該第2のブレードが有する一対の第2の長尺体同士の回動角度を調整する機構を備えていない、開骨器具。

【請求項2】

前記第1のブレードと前記第2のブレードとの分離は、前記第2のブレードを前記第1のブレードに対して基端方向に向かって移動させることにより可能となる、請求項1に記載の開骨器具。